

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課
担当課長名：村山 一弥

事業名 高規格 I C アクセス 一般国道 473 号（川合～中部（原田橋））	事業区分	補助国道	事業主体	浜松市
起終点 自：静岡県浜松市天竜区佐久間町川合 至：静岡県浜松市天竜区佐久間町中部	延長	1.2km		
事業概要 一般国道473号（川合～中部（原田橋））は、天竜川右岸に設置される三遠南信自動車道（仮称）佐久間 I C と天竜川左岸の佐久間市街地を繋ぐ道路であり、広域交通ネットワークの利用による地域の活性化や、住民生活、地域の社会活動の安定を目的とする延長 1.2 km の道路である。				
H27年度事業化	都市計画決定	無	用地買収	無
H28年度工事着手		—km		
全体事業費	約57億円	事業進捗率	約43%	供用済延長
計画交通量	8,800台/日			
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.0 (残事業) 3.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 28/51 億円 事業費：28 / 51億円 維持管理費：0.41/0.41億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 104/104億円 走行時間短縮便益：96 / 96億円 走行経費減少便益：5.1/5.1億円 交通事故減少便益：2.6/2.6億円	基準年 平成29年
感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=1.5～2.3(交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=2.7～4.2(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.8～2.3(事業費 ±10%) 事業費：B/C=3.4～4.1(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=2.0～2.0(事業期間±20%) 事業期間：B/C=3.7～3.7(事業期間±20%)				
事業の効果等				
①圏域の拡大 ・三遠南信自動車道（仮称）佐久間 I C へのアクセス向上により、佐久間協働センター（旧佐久間町役場）からの60分圏域が大幅に拡大し、医療サービス、災害対応の他、地域の活性化に寄与する。				
②住民生活・地域社会活動の安定 ・安心して利用できる渡河ルートの整備により、地域拠点がある天竜川左岸地域と右岸地域の連絡を確保し、住民生活や地域の社会活動の安定に寄与する。				
関係する地方公共団体等の意見 ・架設ルート決定にあたり、地元代表者との意見交換会を実施する中で早期完成の発言がある。また、工事の実施にあたり定期的に開催している説明会においても地域住民より早期完成の発言がある。				
事業評価監視委員会の意見 (浜松市公共事業評価委員の意見) 事業継続を妥当と認める。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成27年の原田橋の落橋により、現在、河川内仮設道路を供用中である。				
○通行対象 原動機付自転車、普通自動二輪車、大型自動二輪車、普通自動車、準中型自動車、中型自動車、大型自動車（全長8.7m未満に限る） ※自転車及び歩行者は通行不可				

事業の進捗状況、残事業の内容等

事業進捗率：約43%
 用地取得率：－

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

平成31年度の橋梁完成に向けた事業進捗を図る。

施設の構造や工法の変更：

技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進する。

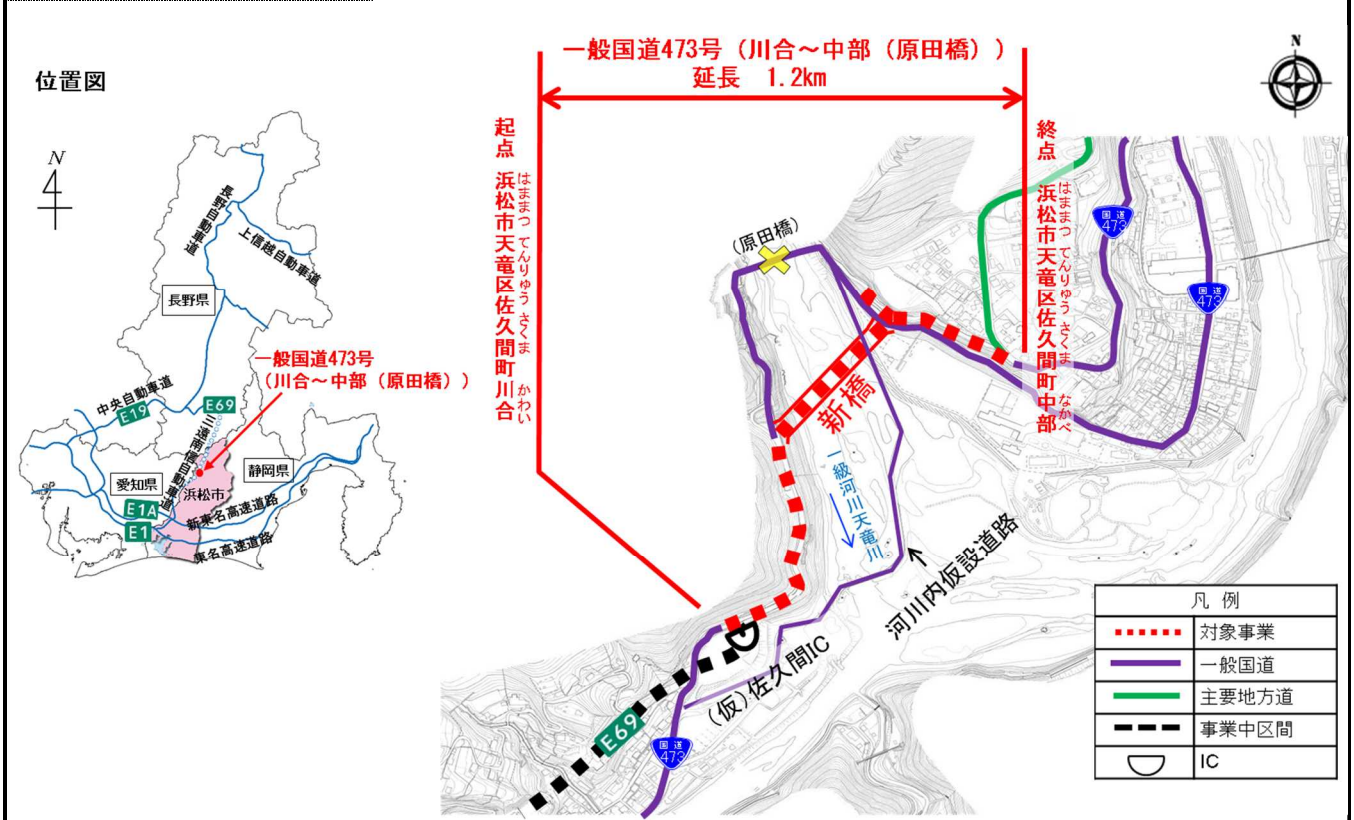
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

本事業により、三遠南信自動車道（仮称）佐久間ICのアクセス道路を確保するによる医療サービスの向上、住民生活や地域の社会活動の安定が期待できる。また、現在河川内仮設道路で天竜川を渡河しており、降雨に伴う佐久間ダム放流時等などの通行規制は、住民生活に大きな影響を与えており、早急な整備が望まれる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。